

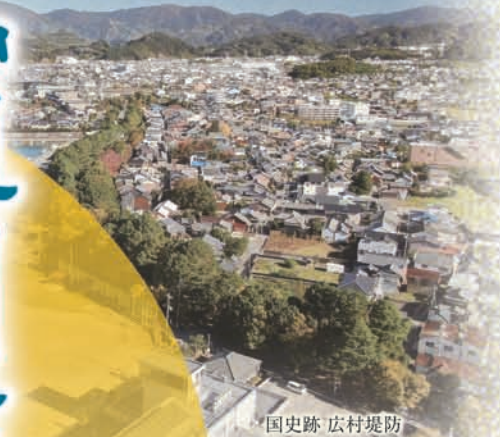
特別展

濱口梧陵と 廣八幡宮

法蔵寺・養源寺・安楽寺の
文化財とともに



濱口梧陵とナイアガラの瀑布 浜地清松筆 稲むらの火の館蔵



国史跡 広村堤防



和歌山県指定文化財 南紀男山焼 三彩狛犬 廣八幡宮蔵



廣八幡宮

令和4(2022)年 **10月15日(土)~11月23日(水・祝)**

開館時間 9時30分~17時(入館は16時30分まで)

休館日 月曜日

入館料 一般830円(680円)・大学生520円(410円) ※ ()は20人以上の団体料金
高校生以下、65歳以上、障害者手帳の交付を受けている方、県内の学校に在学中の
外国人留学生は無料
ふるさと誕生日(11月22日(火))は無料

【主催】和歌山県立博物館

【後援】広川町、広川町教育委員会



和歌山県立博物館
https://hakubutu.wakayama.jp
〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-423-2467
WAKAYAMA PREFECTURAL MUSEUM
— 和歌山城・南側 —



◆JR和歌山駅-南海和歌山市駅からバス「県庁前」下車、徒歩2分
◆和歌山ICから車で約20分 ◆和歌山港から車で約7分

濱口梧陵と廣八幡宮

法蔵寺・養源寺・安楽寺の文化財とともに

濱口梧陵(1820～85)は、安政地震津波の際、道端の稲むらに火を放ち、暗闇に戸惑う村民を廣八幡宮に導いたことで有名です。梧陵が生まれ育った広村(広川町)は、山側を熊野古道が通り、海側は港町として古くから栄えました。その繁栄を示すように、広村周辺にはたくさんの寺社があります。

本展では、梧陵ゆかりの資料を紹介するとともに、幾度の地震津波に遭遇しながら、今日まで守り続けられてきた広村周辺に所在する廣八幡宮・明王院をはじめ、法蔵寺・養源寺・安楽寺に残る文化財を紹介します。



一空上人坐像 法蔵寺蔵



大日如来坐像 四天王寺蔵



鬼子母神立像 養源寺蔵



十一面観音立像 明王院蔵



山水図 黄仲祥筆 安楽寺蔵

展示構成

- I 廣八幡宮と明王院
- II 法蔵寺と一空上人
- III 養源寺と日寛上人
- IV 安楽寺と集う人々
- V 濱口梧陵と安政地震津波



背旗「有田郡 濱口儀兵衛 稲むらの火の館蔵



重要文化財 短刀 銘来国光 廣八幡宮蔵



絵馬「馬之絵」 徳川頼宣奉納 廣八幡宮蔵

関連行事

◆博物館講座

10月23日(日)「紀伊徳川家と広川」(当館学芸課長 前田正明)
10月29日(土)「安楽寺歴代住職とゆかりある文人の書画について」
(当館学芸員 新井美那)

11月6日(日)「濱口梧陵文庫の世界」(県立図書館主査 松本泰明)
会場:近代美術館(博物館となり)2階ホール 13時30分～15時
事前申し込み制 先着各50人
(10月12日(水)9時30分から電話(073-436-8670)で受付開始)
新型コロナウイルス感染症流行の状況により、中止になる場合があります。
必要に応じて、事前にご確認ください。

◆ミュージアムトーク

10月15日(土)、11月12日(土)、11月20日(日)13時30分から1時間程度
当日受付カウンターでお申し込みください。

周辺博物館・美術館の展覧会

- 和歌山県立近代美術館 TEL.073(436)8690
特別展「稗田一穂展」9月10日(土)～11月6日(日)
- 和歌山市立博物館 TEL.073(423)0003
特別展「表千家とわかやま-紀州藩における交流-」
11月5日(土)～12月4日(日)
- 和歌山県立紀伊風土記の丘 TEL.073(471)6123
秋期特別展
「紀氏、大地を開く-宮井用水と耕地開発-」
10月1日(土)～12月4日(日)